

中毒研究

第28巻 総目次

2015年

第1号 (Vol. 28, No. 1) ~ 第4号 (Vol. 28, No. 4)

この総目次は、第28巻第1号~第4号に掲載された全論文・記事を、掲載項目別にまとめたものである。
タイトル：サブタイトル／執筆者名……掲載頁

巻頭言

- 第1号 (Vol.28, No.1)
第37回日本中毒学会総会を開催するにあたって／
千代孝夫…………… 1

総説

- 第3号 (Vol.28, No.3)
危険ドラッグの実態と薬物依存症の治療／成瀬暢也…………… 233
●第4号 (Vol.28, No.4)
合成カンナビノイド中毒と交通事故／松本智寛, 他…………… 333

特集

- 第1号 (Vol.28, No.1)
●医学系教育機関における中毒学教育のあり方
医学部における中毒学教育／織田 順…………… 3
薬学部における中毒学教育／福本真理子…………… 7
臨床検査技師教育における中毒学教育：卒前・卒後教育
の現状と将来への夢／小宮山豊…………… 13
救急救命士養成課程における中毒学教育の現状と問題点／
田中秀治, 他…………… 17

- 第2号 (Vol.28, No.2)
●第37回日本中毒学会総会・学術集会抄録
[シンポジウム 危険ドラッグ—その現況と対策]
1. 危険ドラッグ撲滅には、法整備とともに危険ドラッグ
依存症に対する対策が不可欠である／明石暁子…………… 118
2. 当院に救急搬送されフェンシクリジン類中毒が考慮
された34例の検討／佐藤洋祐…………… 119
3. 3年間の千葉大学法医解剖における危険ドラッグ
関連事例の検討／本村あゆみ…………… 120
4. 危険ドラッグで生じた中毒症状と血中濃度の関係に
ついて／藤田友嗣…………… 121
5. LC-MS/MSによる危険ドラッグ α -PVPおよび
4-MeO- α -PVPの同時迅速分析法の検討／
浅野水辺…………… 122
6. 複数種の合成カチノン及び3MeO-PCP摂取により
死亡したと考えられる一剖検例／榎野陽介…………… 123
7. 危険ドラッグは世界最強のハードドラッグである—
押し寄せる重症化、国際化の波に対して我々はいかに

- 対応をすべきか／横山 隆…………… 124
8. 血中濃度が定量分析できた α -PVP急性中毒の
臨床所見／梅鉢梨真子…………… 125
9. 当院における危険ドラッグ搬送例についての検討／
小原佐衣子…………… 126
[合同シンポジウム 臨床中毒学と毒性学—そのコラボ
レーション]
1. LD50値による毒性評価と行政利用／森田 健…………… 127
2. 非臨床・臨床試験結果は、ヒト急性中毒をどこまで
担保できるか—ヒトの急性中毒でみられる症状と非
臨床・臨床試験結果との整合性／山口芳裕…………… 128
3. 基礎薬理研究での危険ドラッグに対する取り組み／
鈴木 勉…………… 129
4. 危険ドラッグの臨床的特徴とその後の依存症治療／
成瀬暢也…………… 130
5. ヒトの急性中毒症状を動物実験で再現できるか—
有機リン剤等曝露後の遅発性毒性の発現実験より／
菅野 純…………… 131
[教育講演1]
一酸化炭素中毒と高気圧酸素治療／合志清隆…………… 132
[教育講演2]
救急医療機関における物質乱用・依存への対応／
松本俊彦…………… 133
[教育講演3 クリニカル・トキシコロジスト認定セミナー]
解毒剤1：メチレンブルー／清田和也…………… 134
[教育講演4]
危険ドラッグ：中毒・依存症状の発現機序／
野田幸裕…………… 135
[教育講演5]
海洋動物の毒／長島裕二…………… 136
[教育講演6 クリニカル・トキシコロジスト認定セミナー]
解毒剤2：ホメピゾール／遠藤容子…………… 137
[パネルディスカッション 知られない、知っておくべき、
知らしむべき中毒診療]
1. 子ども虐待と判明した小児の急性薬物中毒／
新谷 裕…………… 138
2. 救急外来での検案時に病死と診断された中毒死の
二例／清水恵子…………… 139
3. 急性薬物中毒時の静注脂肪乳剤療法適用における
薬物log Po/w値の評価／森川 剛…………… 140
4. 界面活性剤中毒により循環血流量減少性ショックに
陥った2例／小島直樹…………… 141
5. エチレングリコール中毒の一例—ホメピゾール常備
をどうするべきか？／爲廣一仁…………… 142
6. 急性一酸化炭素中毒における光照射治療という

新しい可能性の検討／鹿志村剛……………	143	の視点から／松岡徳登……………	163
7. セアカゴケグモ咬傷の全国調査の報告／一二三亭 …	144	[一般演題1 患者対応(1)]	
8. 【特別報告】グリホサートカリウム塩を含有する 除草剤による中毒—多施設共同調査から／ 上條吉人……………	145	1. 当院の急性薬毒物中毒への対応に対する課題／ 山本理絵……………	165
[白熱ディベート1 CO中毒に高気圧酸素治療は必須である] Pro CO中毒に高気圧酸素治療は必須である／ 矢澤和虎……………	146	2. 自殺未遂/既遂ハイリスク者に対する地域支援の 試み—自死における prevention としての人材育成／ 厚坊浩史……………	166
Con 急性一酸化炭素中毒に対する高気圧酸素治療に ついて／藤田 基……………	147	3. 高齢者徐脈における薬物の影響を考える／ 荻野隆史……………	167
[白熱ディベート2 急性中毒治療に血液浄化療法は有効 である] Pro 重症急性中毒に対する血液浄化療法の有効性— 多面的視点から見た新たな可能性を考える／ 吉永雄一……………	148	4. 一宮市立市民病院における中毒診療の現状と課題／ 土井智章……………	168
Con 急性中毒治療に血液浄化法は有効である— Conの立場から／林 晃正 ……	149	5. 日本中毒情報センターで受信した医療用医薬品 による自殺企図の実態調査／荒木浩之……………	169
[白熱ディベート3 胃洗浄は服毒後3時間以内でないと 意味が無い] Pro 胃洗浄は服毒後3時間以内でないと意味が無い／ 清田和也……………	150	6. 薬物過量服用患者における重症化予測因子の有用性 の検証／樽井武彦……………	170
Con 胃洗浄は服毒後3時間以内でないと意味が無い とはいえない／宮内雅人……………	151	[一般演題2 患者対応(2)]	
[白熱ディベート4 自殺企図予防には精神科医の処方量 減少が有効である] Pro 自殺企図予防には精神科医の処方量減少が有効 である／上條吉人……………	152	7. 中毒医療における薬剤師の関わり／森 博美……………	171
Con 自殺企図防止には精神科医の処方量減少が有効 である—Conの立場で／東 睦広 ……	153	8. 新たな簡易薬物スクリーニングキット Triage TOX Drug Screen の有用性について／小林憲太郎……………	172
[白熱ディベート5 覚醒剤中毒患者を診たときは警察に 届ける] Pro 覚醒剤中毒患者を診たときは警察に届ける／ 橋本雄太郎……………	154	9. 新規の中毒起因物質はどんな情報源を検索すべきか／ 友田吉則……………	173
Con 私は通報しない—医療者として何を優先 すべきか／松本俊彦……………	155	10. AccuSign [®] を用いた覚せい剤中毒の診断特性に ついての検討／小橋大輔……………	174
[白熱ディベート6 マムシ咬傷には抗毒素投与が必要 である] Pro マムシ咬傷には抗毒素投与が必要である／ 野田慶太……………	156	11. Triage [®] DOAにおいて麻黄含有製剤服用者尿中の 覚せい剤陽性反応を示す化合物の探索／奈女良昭 ……	175
Con マムシ咬傷に抗毒素投与は必要でない— 当センターで経験した31例の分析から／ 辻本登志英……………	157	12. 意識障害で救急搬送され、トライエージにてPCP 陽性を認め、入院後あるいは救急外来診療中にたこ つぼ型心筋症を呈した2例／佐藤琢紀……………	176
[白熱ディベート7 アセトアミノフェン中毒にはNAC 投与が必須である] Pro アセトアミノフェン中毒にはNAC投与が必須 である／福本真理子……………	158	[一般演題3 患者対応(3)]	
Con アセトアミノフェン中毒にはNAC投与が 必ずしも必要ではない／山本敬洋……………	159	13. 多価ハロゲン基導入ポルフィリン配位子による新規 な血中リチウム検査法と救急薬物検査への可能性／ 秋富慎司……………	177
[白熱ディベート8 有機リン中毒にPAMは有効である] Pro 有機リン中毒にPAMは有効である／新谷 裕…	160	14. 尿中より覚せい剤とコカイン未変化体を検出した 症例の考察／深山靖夫……………	178
Con 今暴かれるPAMの素顔：正義の味方と見せ かけた詐欺師、あるいは放火を繰り返す消防士／ 富岡譲二……………	161	15. 合成カンナビノイドのGC-EI-MS及びGC-PCI- MS, GC-NCI-MSによる構造式の推定／斉藤 剛…	179
[白熱ディベート9 インスタントビューの方がトライ エージよりも有用である] Pro 当院では濫用薬物スクリーニングキットを INSTANT VIEW M-1に変更した／大谷典生 ……	162	16. 危険ドラッグの摂取による3-MeO-PCP中毒の一例／ 杉田真理子……………	180
Con 当施設におけるトライエージDOAの使用状況 とインスタントビュー-M1の比較—臨床検査技師		17. 精神的な患者対応が困難であったインスリン 超大量注射例／是永 章……………	181
		18. 当科を受診した危険ドラッグ使用者の2症例／ 小野寺誠……………	182
		19. ドクターヘリと消防ヘリによる救命医療により 亜硝酸ナトリウムを病院前で投与し良好な転帰 をえた硫化水素中毒の多数傷病者事案／板井純治 ……	183
		[一般演題4 自然毒]	
		20. 重篤な意識障害とけいれんを呈したが、ほぼ後遺症 なく自宅退院となったテングタケ中毒／ 新中さやか……………	184
		21. ニシグリーンマンバ咬傷からコンバートメント 症候群をきたした一例／井上朋子……………	185
		22. カバキコマチグモ咬症による広範な症状に対して 局所温熱療法が有効であった1例／大林正和……………	186
		23. 内部標準を用いたテトロドトキシンの実用的分析／ 奈女良昭……………	187
		24. 多彩な中毒症状を呈した重症フグ中毒の1例／ 山田裕樹……………	188
		25. 血圧低下を来して搬送され、温浴治療を施行した エイ毒針刺傷の一例／大河内謙太郎……………	189

26. マムシ咬傷における抗毒素血清の有用性についての検討／山野修平……………	190	1例／山本篤史……………	217
27. 野草を摂取後に急性呼吸循環不全を呈した1例／上村吉生……………	191	54. スルピリド中毒の可能性が示唆された多剤服用死亡例／石井 晃……………	218
[一般演題5 工業用品]		55. 薬物消失期における胃内容と血液のカルバマゼピン濃度の関係—基礎実験による検証／吉留 敬……………	219
28. 塩化亜鉛中毒の一部解剖／近藤武史……………	192	[一般演題10 農業]	
29. 急性メタノール中毒の1症例／橋本忠幸……………	193	56. 長期人工呼吸管理を要する閉じ込め症候群を呈したネオニコチノイド系農薬による急性中毒の一例／鎌田裕基……………	220
30. 無水6価クロム酸の全身化学熱傷で治療が奏功した1例／阿部貴紘……………	194	57. 有機リン中毒が関与した法医学解剖4事例／藤原純子……………	221
31. 経肛門的にアルコールを注入し発症した化学性直腸結腸炎の一例／關 匡彦……………	195	58. ジメチル型有機リン系殺虫剤中毒に対する腸洗浄とPAMによる治療成績／藤野靖久……………	222
32. 急性一酸化炭素中毒の治療における光照射の有効性／田中 拓……………	196	59. ハイドロサルファイト還元による尿中パラコート定性分析の内因性物質による干渉試験及び前処理法の検討／白田忠雄……………	223
33. 当院で経験した家庭用品, 工業用品誤飲による中毒症例の検討／中井智己……………	197	60. グリホサート含有除草剤(商品名コンパコレール)中毒の一例／保倉祥太……………	224
[一般演題6 医薬品(1)]		[一般演題11 家庭用品]	
34. アシクロビル脳症の一例—バラシクロビルの排泄低下を薬剤性腎機能障害が助長する／薬師寺泰臣……………	198	61. 硫化水素中毒の2例／藤芳直彦……………	225
35. 重症カフェイン中毒に続発した一過性喉頭機能障害の一例／宮 顕……………	199	62. トイレ用酸性洗浄剤を経口摂取後に腐食性食道炎, 胃穿孔, 腹腔内出血を生じOpen abdomen managementにより救命し得た1例／廣瀬智也……………	226
36. 興奮性せん妄をきたした塩酸ピルシカイニド中毒の1例／藤井公一……………	200	63. 防水スプレー製品等による中毒事故の傾向およびその安全対策の動向／河上強志……………	227
37. メジコン錠を大量服用し意識障害を来した1例／吉岡早戸……………	201	64. ヘリウムガス中毒により自殺した1例／山村英治……………	228
38. 持続濾過透析(CHDF)が有効であったピルシカイニド中毒の1例／益満 茜……………	202	65. 小児のタバコ誤食の現況／新谷 裕……………	229
39. 未成年者による急性カフェイン中毒の3例／中山由紀恵……………	203	66. 自宅内の「囲炉裏」による一酸化炭素中毒の3事例／山下 進……………	230
[一般演題7 医薬品(2)]		第4号(Vol.28, No.4)	
40. 徐脈・意識障害にて来院した高Mg血症の1例／宮内直人……………	204	●法医学からみたガス中毒	
41. 血漿交換療法が著効し心停止から後遺症なく救命したテオフィリン中毒症の1例／塚原紘平……………	205	火災ガス: 一酸化炭素, シアンガスを中心に／守屋文夫……………	339
42. 吸収過程が遅延した急性テオフィリン中毒の1症例／榎屋友幸……………	206	硫化水素／吉留 敬, 他……………	346
43. エベリゾン塩酸塩中毒により薬剤性QT延長を来した1例／岩谷洋介……………	207	ブタン／奈女良昭……………	350
44. 当院で経験したリチウム中毒の2例／田中真生……………	208	ヘリウムガス／吉留 敬, 他……………	355
45. 炭酸リチウム過量服薬に対して早期胃洗浄及び持続的血液透析が著効した一例／森澤紀彦……………	209		
[一般演題8 医薬品(3)]		レター／速報	
46. 服用24時間で致死経過をたどったアスピリン大量服用の1例／河西克介……………	210	●第1号(Vol.28, No.1)	
47. 診断に難渋したジフェンヒドラミン, ジプロフィリン配合剤(トラベルミン®)大量内服の1例／竹中信義……………	211	危険ハーブに含まれる合成カンナビノイド検知キットの開発(1)／川端三十一, 他……………	23
48. 先天性心疾患に合併した難治性心房粗細動に対するアミオダロンにより誘発された甲状腺中毒症の一例／鄒 佳苗……………	212		
49. 自殺目的で外皮用殺菌消毒薬を内服し救命しえた1例／野島 剛……………	213	原著論文	
50. プレガバリン大量服薬の一例／岡田純一……………	214	●第4号(Vol.28, No.4)	
[一般演題9 医薬品(4)]		Web アンケート調査からみた危険ドラッグの乱用に対する包括指定制度施行の効果および今後の課題／森野太一, 他……………	359
51. DHP 施行後におけるバルビツレートの体内薬物動態／豊田将平……………	215		
52. 慢性疼痛治療薬(貼付薬)による意識障害が疑われた一例／本多英喜……………	216	症例報告	
53. 末期のCKDを合併した骨粗鬆症に投与されたデノスマブによる遷延性の低カルシウム血症の		●第3号(Vol.28, No.3)	
		急性メタノール中毒におけるギ酸血中濃度分析法の検討／森川 剛, 他……………	243

症例短報

- 第1号 (Vol.28, No.1)
向精神薬多量服用者に認められたトライエージ DOA® の
偽陽性例について；剖検例からの中毒学的検討／
東田千絵, 他…………… 27
- 第3号 (Vol.28, No.3)
血液吸着療法を行ったドクササコ中毒の1例／
關 匡彦, 他…………… 247
- 第4号 (Vol.28, No.4)
グリホサートカリウム塩中毒による重篤な高カリウム
血症から救命し得た3症例／加藤頼子, 他…………… 368
コルヒチンの過量服用により急速な経過で死亡した1例／
松吉健夫, 他…………… 371

シリーズ：日本毒性学会との連携

基礎から臨床へのトランスレーショナルトキシコロジー

- 第1号 (Vol.28, No.1)
症例で考える, 治験結果と臨床現場の認識のずれ／
杉田 学…………… 37
- 第3号 (Vol.28, No.3)
髄液バイオマーカーを用いた急性一酸化炭素中毒の
予後予測に関する検討／井出俊光…………… 259
- 第4号 (Vol.28, No.4)
LD50 値による毒性評価手法の変遷／森田 健…………… 388

シリーズ：解毒薬

- 第1号 (Vol.28, No.1)
ホメピゾール／遠藤容子, 他…………… 31
- 第3号 (Vol.28, No.3)
メチレンブルー (MB)／清田和也…………… 253
- 第4号 (Vol.28, No.4)
亜硝酸アミル, 亜硝酸ナトリウム, チオ硫酸ナトリウム／
森脇龍太郎, 他…………… 383

中毒中級講座

- 第1号 (Vol.28, No.1)
植物性自然毒による中毒／藤田友嗣, 他…………… 41
- 第3号 (Vol.28, No.3)
脂肪乳剤／森脇龍太郎…………… 249
- 第4号 (Vol.28, No.4)
中毒事例に対する病院前診療／井上貴昭…………… 374

文献紹介

- 第1号／57, 第3号／306, 第4号／407

分析委員会だより

- 第3号 (Vol.28, No.3)
中毒起因物質の実用的分析法；前処理法からスクリー
ニング分析まで
連載を始めるにあたって／藤田友嗣…………… 265

- 中毒起因物質の実用的分析法；前処理法からスクリー
ニング分析まで (1)
検知管による薬毒物のスクリーニング／
石澤不二雄, 他…………… 266
- 第4号 (Vol.28, No.4)
中毒起因物質の実用的分析法；前処理法からスクリー
ニング分析まで (2)
含フッ素テトラフェニルポルフィリン配位子をプローブ
とした新しい血清リチウムの迅速測定試薬／
岩淵拓也, 他…………… 392

事例調査・研究委員会だより

- 第1号 (Vol.28, No.1)
ドクササコ調査会報告；登木口進先生との出会い／
上條吉人…………… 48

国際委員会だより

- 第4号 (Vol.28, No.4)
初めての国際学会発表に向けて／福本真理子…………… 397

中毒情報センターから

- 第1号 (Vol.28, No.1)
小児における医療用医薬品の誤使用による事故に関する
実態調査／黒川友里亜, 他…………… 52
- 第3号 (Vol.28, No.3)
2014年受信報告／
公益財団法人 日本中毒情報センター…………… 273
- 第4号 (Vol.28, No.4)
日本中毒情報センターにおける急性中毒に関する
症例情報の収集と共有化／波多野弥生, 他…………… 402

海外の中毒学会から

- 第1号 (Vol.28, No.1)
2014年「NACCT」参加記／宮内雅人…………… 46

海外中毒情報文献

- 第1号／58, 第3号／307, 第4号／408

クリニカル・トキシコロジスト 認定試験問題 解答・解説

- 第1号／59, 60, 第4号／409, 410

学会抄録

- 第1号 (Vol.28, No.1)
第4回日本中毒学会九州地方会一般演題発表抄録…………… 61
第26回日本中毒学会中国四国地方会発表抄録…………… 68
- 第3号 (Vol.28, No.3)
第29回日本中毒学会東日本地方会一般演題発表抄録…………… 308

●第4号 (Vol.28, No.4)	
第35回日本中毒学会西日本地方会一般演題発表抄録 …	373

日本中毒学会からのお知らせ

●第1号 (Vol.28, No.1)	
第37回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内 (第3報) ……	77
第30回日本中毒学会東日本地方会学術集会のお知らせ (第1報) ……	78
第36回日本中毒学会西日本地方会開催のお知らせ (第1報) ……	78
第27回日本中毒学会中国四国地方会学術集会のお知らせ (第1報) ……	78
第6回日本中毒学会九州地方会学術集会のお知らせ (第1報) ……	78
●第3号 (Vol.28, No.3)	
第38回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内 (第1報) ……	325
第6回日本中毒学会九州地方会学術集会のお知らせ (第2報) ……	325
第30回日本中毒学会東日本地方会学術集会のお知らせ (第2報) ……	325

第36回日本中毒学会西日本地方会開催のお知らせ (第2報) ……	325
第27回日本中毒学会中国四国地方会学術集会のお知らせ (第2報) ……	326
広報委員会からのお知らせ ……	326
●第4号 (Vol.28, No.4)	
第38回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内 (第2報) ……	417
第30回日本中毒学会東日本地方会学術集会のお知らせ (第3報) ……	417
第36回日本中毒学会西日本地方会開催のお知らせ (第3報) ……	418
第6回日本中毒学会九州地方会学術集会のお知らせ (第3報) ……	418

臨床中毒フォトコンテスト

●第1号 (Vol.28, No.1)	
産卵前のセアカゴケグモ／津田紀子	
●第3号 (Vol.28, No.3)	
スベスベマンジュウガニ(滑滑饅頭蟹)／福本真理子	
●第4号 (Vol.28, No.4)	
幽玄の舞いーヒドロ虫／南川傳憲	